

町会・自治会の活動取り組み事例(安全・安心なまちづくり)

安否確認カードによる安否確認訓練

事業実績

開催日	令和5年11月5日(日)	実施団体	戸山ハイツ南地区自治会
会場	戸山ハイツ南地区	参加者	367名

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東戸山小学校の避難所開設訓練当日に各町会・自治会で安否確認、一時避難所への避難等の個別訓練を行った。 ・戸山ハイツ南地区自治会では事前に安否確認訓練の実施を周知し、指定時間に安否確認カードを各部屋のドアに貼り付けるよう依頼した。
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・当日は367世帯が安否確認カードを各部屋のドアに貼り付けた。 ・個別訓練後の避難所開設訓練では起震車体験等を行った。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・新宿区の防災区民組織活動助成金で安否確認カードを購入した。 ・東戸山小学校の避難所開設訓練と併せて実施することで、①安否確認、②一時避難場所への避難、③避難所への避難という流れが理解できた。
改善点 気づいた点等	<ul style="list-style-type: none"> ・戸山ハイツ南地区自治会の約600世帯に安否確認カードを配付したが、安否確認カードを貼り付けなかった世帯もあるため、さらなる周知が必要。

イベントの様子・参加者の声



▲安否確認カード



▲安否確認カード(ドア貼付)



▲以前の安否確認の旗



▲起震車体験(避難所訓練)



【戸山ハイツ南地区自治会 河原田会長】

以前は安否確認の旗を使用していましたが、風で外れる危険性があったため、新しくマグネット式の安否確認カードを作成・配布しました。戸山ハイツは高齢化が進んでおり、現在の体制では災害時の避難所運営等が難しいため、新しい担い手の発掘や行政との連携が課題となっています。